

## 第 5 回春日山原始林保全計画検討委員会 指 摘 事 項 対 応 表

### (1) 平成 26 年度保全事業の進捗状況について

No	指摘事項		対応
	主な内容	詳細	
1	実証実験の 進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング調査を1月に予定しているが、1月では植生の変化を把握しにくいので調査時期を変更してはどうか。(本間オブザーバー)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング調査を平成 27 年 5 月から実施している。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証実験の実施箇所が増えていくにつれて、モニタリング調査の手間が増える。想定している調査内容やレベルを今後どのように維持していくのか。(前迫委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング計画に則り、少なくとも5年間、専門家による調査を実施する。</li> <li>・その後、優先順位の高い実施箇所や、森林更新の状況等を踏まえ、モニタリング調査の効率化を図る。</li> </ul>
2	ナラ枯れ対策の 進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビニール被覆部が蒸れ、樹皮へ影響を与えているケースも見受けられる。今後も、ネットとビニールの両方を用いた、被覆を行うのか。(前迫委員)</li> <li>・さらに高性能な素材の採用を検討してはどうか。(田中委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大径木(計 369 本)への予防措置は、平成 26 年度に完了した。</li> <li>・平成 27 年度には、大径木以外のナラ枯れ被害木への予防措置を 230 本実施した。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トラップは、その効果検証を目的に設置するのか、それとも被害軽減を目的に設置するのかを分けて考える必要がある。(田中委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の予防措置と併せて、カシノナガキクイムシの生息密度を低下し被害軽減を図るため、トラップの設置、管理を実施している。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライブウェイの入口で取り組みを紹介した紙を配布するなど、観光面からも情報発信をしてはどうか。(佐野委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良公園事務所HPに、ナラ枯れ対策の資料を掲載するなど、取り組みの周知を図っている。</li> <li>・なお、情報発信の充実に向けて、その方法について引き続き検討を行う。</li> </ul>
3	ナギの数量 調整の進捗 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本格的にナギの数量調整に着手するときは、標高の高い箇所に入っているナギの数量調整を行うという戦略のほうが望ましいと考える。(前迫委員)</li> <li>・戦略としては最前線から数量調整を行う考え方が重要となる。数量調整の根拠となるデータが必要である。(川瀬委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量調整の本格化に向けては、ナギの分布状況を把握し、最前線部から御蓋山方面へ数量調整を行うなど、戦略的な方法を検討する必要があることを基本方針に追記した。</li> </ul>

3	ナギの数量調整の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナギの上層木は数量調整を行わないということであるが、実証実験という事ならある程度やってもいいのではないかと思う。(本間オブザーバー)</li> <li>ただし上層木のナギを広範囲で数量調整すると、土壌侵食が起こり、実生が定着しない。広範囲でやる場合は、土木的な行為を併せて行う必要があるので、小範囲で試験的にというやることが望ましい。(前迫委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>林冠を形成しているナギの数量調整については、今後の懸案事項として位置づけた。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>数量調整をした後、遮光シートで萌芽更新を防ぐ方法もあるが、そういう事も考えてはどうか。(吉田委員長)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリングにおいて萌芽の更新状況を把握し、その結果を踏まえ、遮光シートの使用等、萌芽更新防止対策方策を検討することとした。</li> </ul>

(2) 春日山原始林保全計画 保全の基本方針(案)について

No	指摘事項		対応
	主な内容	詳細	
1	保全再生という用語	<ul style="list-style-type: none"> <li>「今残されている原生的な状態を維持する」では、保護を趣旨とした取り組みと読める。保全を趣旨としているので、「今残されている原生的な状態を維持するために対策をする」などの表現が適切であると考え。(田中委員)</li> <li>再生というと、今まであったものが壊されたときに元に戻す時に良く使う。計画案に使われている保全再生は、自然攪乱によるものも含まれるような気がしてわかりにくい。(山倉副委員長)</li> <li>保全に、再生が含まれるという状態になるのではないか。(吉田委員長)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保全計画では、保全という用語を用いることとし、保全の定義を再検討するとともに、併せて計画素案の用語統一を行った。</li> </ul>
2	春日山原始林の保全の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>目指すところに「照葉樹林」という言葉がない。照葉樹林として維持していくという所を入れて頂きたい。元々照葉樹林であった所が常緑針葉樹林・落葉広葉樹林になっている事も問題点の1つである。(前迫委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「照葉樹林が常緑針葉樹林・落葉広葉樹林に変容している」ことを現状と課題の1つとして追記した。</li> </ul>

2	春日山原始林の保全の基本的な考え方(続き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「シカと鳥などの」という部分の議論があったが、ここは「野生動物と鳥などの」と書いて、下の段にシカやナギ等の歴史文化に関わる文言を1つ加えて頂けたらと春日山原始林の特徴が良く出て来るのではないかと思う。(川瀬委員)</li> <li>・原生的な森林を構成するという事では、春日スギは分けて書いた方が良いのではないか。(本間オブザーバー)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春日山原始林の保全の目標の一つを、「野生動物と鳥、昆虫類などが多く生息している」に修正した。</li> <li>・また、春日山原始林の歴史的背景を踏まえ、「特別天然記念物奈良のシカ、ナギ、春日スギなど、都市近郊にある原始林として特徴的な歴史文化を有している」を追記した。</li> </ul>
3	保全方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画とするならば、記載されている方策(案)は細かすぎる。(前迫委員)</li> <li>・照葉樹林を保全する方策は具体的に書いてあるが、基本方針であるならもっとシンプルにして頂いても良いのではないか。(前迫委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針は、「保全の目標」及び「保全の基本的な考え方」までとした。</li> <li>・その上で、保全計画では、基本方針の次の項目に「保全方策」を掲げ、その主な内容と、各方策の計画期間を記載した。</li> <li>・なお、ナラ枯れ対策やナギの数量調整等、本委員会で議論を深めてきた個々の保全方策の内容については、今年度後半に検討を予定している実施マニュアルでとりまとめることとする。</li> </ul>
4	計画期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保全計画であるので、普通は計画期間があり、長期的な目標と当面のファーストステップの計画がある。(田中委員)</li> <li>・計画を立てる際は、短期・中期・長期等に分けて話を進めていくが、保全方策には短期的なもの多くなっている。(吉田委員長)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保全方策毎に、計画期間を想定し説明を追記した。</li> </ul>

### (3) その他

No	指摘事項		対応
	主な内容	詳細	
1	基礎資料の追加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春日大社の日誌の中に「オオカミが出てきて」という記述がある。実際にそのオオカミを絵にした軸が残っている。(佐野委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文献収集を行い、基礎資料に追加する予定である。</li> </ul>